

19年度の各会計決算をチエック!

どう使われた!?

質疑あれこれ

花巻市総合計画の進捗状況は

平成19年度の各会計決算を審査する決算特別委員会(中村勝吉委員長、伊藤英一副委員長)が、9月9日、9月11日、16日の3日間開かれ...

総合計画において大項目が31あり、平成19年度から27年度までの計画だが、平成19年度における進捗よく状況について何う。

事業の着率は87%、進捗よく状況については、現在市民満足度や統計数値などを調査しているが、スタートした年でもあり把握が難しいところである。これらを精査して市民の皆様にお知らせすることは大事だと考えている。なお、今年度からは

実施計画ができてきていることから、これを使って進捗よくの状況は数値化して示すことはできると考えている。

花巻空港の利用状況に対する見解は

いわて花巻空港の利用状況が大変深刻であると聞いた。この利用に関する市の見解を何う。

新聞報道等されたとおり、平成19年に福岡便の定期便が休止状態に、また、平成21年の2月に関西国際便が休止、毎年



県や関係機関と協力して空港の利用促進を図っていくことが求められています(9/23 いわて花巻空港スカイフェスタ2008)

3月に飛んでいた沖縄便も運休になるということ、利用者は約6万人減少すると考えている。市としては、航空会社に対して県や関係機関とともに要望していくことや、羽田便がなるべく早く実現するように努めていく。

全棟調査の状況と今後の見通しは

課税台帳について、現在、家屋全棟調査が行われている。この調査で

ジョブサポの活動内容とジョブカフェ導入は

ジョブサポートセンターでは企業の調査や様々な活動をしているがその内容を、また、ジョブカフェにする考えはないか何う。

ジョブサポートセンターでは、就労機会の支援や雇用あるいは就労に関わる様々なサポート、労働実態調査などを行っている。また、それらに加えて非正規雇用や障がい者、子育てを終えた方の再雇用などの情報収集をしながら就労の機会の場の提供を充実させていきたい。また、ジョブカフェは、就労斡旋までできるものだが、法律的な制約もあること、就職口がなければ斡旋ができないことから、市としては雇用の拡大を重点において取り組んでいる。そのため企業や関係機関を訪問して要請を行っている。また、今年度から市長も企業と懇談する機会をつくり、要請している。



平成19年に実施された松くい虫感染源クリーンアップ実証調査(伐採した感染木を運び出しているところ)

拡大する松くい虫への対策は

松くい虫対策について、被害が花巻市を越えて北上し続けているというところであるが、今後の対策について何う。

被害状況は、材積(立方メートル)で、平成17年度3,351であったのが、平成19年度には5,

741と拡大している。そこで従来の対策に加え、19年度から県が2カ年にわたり実施している松くい虫感染源クリーンアップ実証調査に市で業務委託している。これは、感染木から半径60mを全て伐採し、その結果どうなるか調査するもので、平成20年度も同様に4カ所で取り組んでいるところである。

学校耐震化の補助金が交付金になったが

学校の耐震化について、平成18年度から国の補助が、補助金から交付金に変わったとのことだが、そのことがどう影響したか何う。

学校の耐震化については、安心安全な学校づくりということ、交付金になったが補助率等はそのまま、補助単価も実勢単価に近くなっている。また、交付金になったことで、市で学校配分を動かすことができるようになり、非常に事業が進めやすくなっている。

国保税は平成21年度に均一化するのか

国保税は現在不均一課税となっているが、1世帯当たりの平均額はどのくらいか、また、合併協定では平成21年度までに均一化するとしているがどのように考えるか

併せて何う。

旧花巻市分は、医療分13万2,292円、介護分1万4,075円、旧大迫町分は、医療分12万6,667円、介護分1万9,236円、旧石鳥谷町分は、医療分14万3,995円、介護分2万4,302円、旧東和町分は、医療分11万1,440円、介護分1万7,408円となっている。また、保険料については、合併協定が3年間不均一課税ということであることから、平成21年度からは均一課税の方向で進め

ていきたいと考えている。

水道料金 統一までの流れは

合併に伴う水道料金統一までの流れについて何う。

改定の時期は可能な限り平成20年度内としているが、水道料金だけではなく、下水道料金も含めて総合的に調整を図っている。12月の定例会には提案できるよう作業を進める。



石鳥谷小学校で行われている耐震工事